

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【公開番号】特開 2000-56448 (P2000-56448A)

【公開日】平成 12 年 2 月 25 日 (2000.2.25)

【出願番号】特願 平 11-105328

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/00 (2006.01)

B 4 1 N 1/14 (2006.01)

G 0 3 F 7/039 (2006.01)

【F I】

G 0 3 F 7/00 5 0 3

B 4 1 N 1/14

G 0 3 F 7/039

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 7 日 (2006.4.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

親水性表面を有する平版印刷ベース上に、水性アルカリ性溶液中に可溶性のポリマーを含む第 1 層ならびに平版印刷ベースの第 1 層と同じ側の上の最上層を有し、最上層は I R - 感受性で且つ水性アルカリ性現像液に関して非浸透性であり、該第 1 層及び該最上層は 1 つの同じ層であることができる平版印刷版の作製のためのヒートモード画像形成要素であって；該要素の表面が、露出され且つ水性アルカリ性現像液で処理されると、

a) 画像形成要素の非露出領域と水性アルカリ性現像液の間の接触角が該現像液との接触の最初の 1 分間に最高で 6 ° 変化し；

b) 画像形成要素の露出領域と水性アルカリ性現像液の間の接触角が該現像液との接触の最初の 1 分間に 15 ° より大きく変化し；

c) 画像形成要素の一方の側における非露出領域及び他方の側における露出領域の間の水性アルカリ性溶液との接触角における差が測定の開始時において 10 ° 以下であるようなものであることを特徴とするヒートモード画像形成要素。

【請求項 2】

画像形成要素の非露出領域と水性アルカリ性溶液の間の接触角が測定の開始時において少なくとも 100 ° である請求項 1 に記載の平版印刷版の作製のためのヒートモード画像形成要素。

【請求項 3】

接触の最初の 1 分間における画像形成要素の露出領域と水性アルカリ性現像液の間の接触角における変化が 20 ° より大きい請求項 1 に記載の平版印刷版の作製のためのヒートモード画像形成要素。

【請求項 4】

水性アルカリ性溶液中に可溶性のポリマーがノボラックポリマー又はポリヒドロキシステレン単位を含有するポリマーである請求項 1 に記載の平版印刷版の作製のためのヒートモード画像形成要素。

【請求項 5】

該画像形成要素が I R 吸収性化合物を含有する請求項 1 に記載の平版印刷版の作製のためのヒートモード画像形成要素。